

一期一会

佐倉市立西志津中学校
第 1 学 年 通 信 第 6 号
令和 8 年 9 月 2 9 日 発行

1 学年の折り返し

2 学期が始まって 1 ヶ月が経ちました。1 学年のフロアはこれまでと同様にいつもにぎやかですが、1 学期に比べて授業前の入室が早くなったり、授業中の私語が減ったりと、苦手としていた部分が少しずつ改善されてきました。3 年生が引退し代替わりをした部活動、2 回目の定期テスト、本部役員選挙、やまぶき祭の練習と、様々な経験を積む中で、確かな成長や変化が感じられます。

明日をもって前期が終了し、中学校生活最初の 1 年間も折り返し地点を過ぎることとなります。後期も一人ひとりが自分らしさを発揮しつつ、初めてのことや苦手なことにも挑戦して新しい自分に出会えるような時間を過ごせるよう、これからもサポートしてまいります。引き続きのご理解とご協力をお願いいたします。

令和8年度 10月の主な予定

日	曜	部活	さようなら	学校の予定	日	曜	部活	さようなら	学校の予定
1	木	16:00	14:30	後期日課開始 2学年校外学習	17	土			
2	金	○	14:30		18	日			
3	土				19	月	×	14:50	
4	日				20	火	○	15:00	教育相談 進路説明会
5	月	×	14:30		21	水	○	14:25	教育相談
6	火	○	15:05		22	木	○	14:25	教育相談
7	水	○	15:05	印旛郡市中学校駅伝競走大会	23	金	○	14:25	教育相談
8	木	×		やまぶき祭 本部役員引継式	24	土			
9	金	○	14:50	前期通知表配付	25	日			
10	土				26	月	×	14:25	
11	日				27	火	○	14:25	教育相談
12	月				28	水	○	15:00	教育相談予備日 定期テスト③2週間前
13	火	×	14:25	職員会議	29	木	×	14:50	公開研究会
14	水	○	15:00	全校評議会	30	金	○	14:50	一部会音楽発表会
15	木	×	14:50	3年実力テスト 全校委員会					
16	金	○	14:50	3年医薬品の授業	部活動の最終下校時刻は基本的に16:30です。※例外あり				

◆授業評価アンケートの結果を受けて

9 月 18 日に「授業評価アンケート」を実施しました。お子さまの回答をもとに、各教科が挙げた「後期の努力点（1 学年）」をお知らせします。職員一同、お子さまの実態に合わせた授業を展開していきたいと考えております。引き続き、ご支援をお願いいたします。

※教科ごとに「授業の内容はよくわかる」「授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できている」「授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと感じる」「授業で、家庭でどのような学習をすればよいかわかる」の 4 項目について、「そう思う」「やや思う」「あまり思わない」「思わない」の 4 段階で評価してもらいました。

教科名	努力点
国語科	授業の内容が理解できている割合が大きい一方で、普段の生活に活用できている実感が薄いという回答結果になりました。国語の授業で高めた語彙力や話す・聞く力が日常のコミュニケーション場面でより発揮されるよう、日常生活・社会生活にリンクした学習活動を設定していきます。
社会科	普段の生活に学習内容を生かせていないという回答が最も多かったので、今後の学習においては、日常生活と関連する事柄を今以上に授業で触れていく予定です。また、家庭での学習に関しては、ドリルパークだけではなく、補足用のプリントを配付していきます。
数学科	学習したことを普段の生活に活用できている、家庭でどのように学習すればよいかわかるという質問に対する肯定率がほかの項目に比べて少し下がる結果となりました。後期は、授業で学んだことをその場で終わらせるのではなく、「これまで学んだことがどのように使われているか」「どのように学習すれば自分の力になるか」を考える場面を大切にしていきます。また、家庭での学習に見通しをもって取り組めるように、復習方法や解き直しの際の留意点など、具体的な学習方法を授業の中でも伝えていきます。
理科	引き続き、小学校での学習と関連付けながら、わかりやすい授業になるよう工夫していきます。前期は、理科室や実験器具の使い方など、理科を学ぶための基礎を身に付けました。後期は、学習内容と日常生活や社会とのつながりを大切にしながら授業を進めていきます。
音楽科	「学習したことをふだんの生活で活用できている」「学習したことは社会に出た時に役に立つか」というところで肯定率が低い結果が出ました。前期はやまぶき祭にむけての活動に時間をとられたので、音楽の歌唱という部分に大きく取り組んだこととなります。後期は幅広い音楽の活動（鑑賞・器楽・創作）に実態を踏まえて取り組めるようにしていきます。
美術科	クロッキーで人体の美しさ、観察、思考、表現の体験を繰り返し行いうことで図工から美術への発展を促しました。絵が好きでスムーズに理解し、狙いが達成できた生徒も多かったですが、苦手意識に輪をかけてしまった生徒もいました。後期は抽象彫刻が主体の授業で「よくできた」「楽しかった」という気持ちになれ、自分でさらに調べたり、将来役立つであろうという満足感につなげていきます。
保健体育科	前期は、生徒が学習のねらいや技能のポイントを捉えて活動する姿が見られました。後期は、ICTや仲間との対話、振り返りを活用し、自ら課題を見付けて技能を改善するとともに、運動の楽しさを実感し、日常的な運動習慣につなげられる授業を目指します。
技術・家庭科	前期は技術科で、「生活に役立つ本棚」を意欲的に作成できました。完成時に「歪み」「隙間」「凸凹」がないことが「けがき（寸法）・切断・切削・穴あけ・仮組み立て・釘打ち・表面研磨・塗装」の各工程が実っていることを伝えました。一方、「学習内容を普段の生活の中で活用できている」の項目は、ふりませんでした。今後は、子どもたちの声を大切にし、学びと身近な生活を結び付ける授業を工夫してまいります。
外国語科	授業の中で学習したことが、普段の生活の中で活用できているという回答が低い傾向が見られました。学校外で英語を使う機会は少ないので、後期はさらにテーマを変え、ALTと 1 対 1 で話す機会（実践的コミュニケーションの場面）を増やして英語を使う機会を確保していきます。またテスト（解き）直しの仕方、ポイント、予習やワーク等での復習など家庭学習で進められるよう再度、授業で伝えていきます。